

CB&I Lummus 社（オランダ）との協業について

当社（本社：神戸市中央区、社長：青木克規）は、オランダの CB&I Lummus 社（本社：オランダ ハーグ市、以下 CB&I）と Waste to Energy（廃棄物発電、以下 WTE）案件向け「流動床式ガス化溶融システム（廃棄物処理システム）」のマーケティングに関する業務提携の覚書を2009年12月に締結しました。両者で欧州27カ国を対象とした、WTE 案件の初期的なマーケティング活動と、当社のガス化溶融ノウハウ・CB&Iの熱回収ノウハウ（高効率発電）を融合した技術開発の検討を行ってきた結果、南欧・東欧等を中心に充分受注チャンスがあることを確認しました。今後は、2010年11月にフランスで開催される国際環境総合展 Pollutec への CB&I との共同出展も含め、本格的な受注活動に取り組んでまいります。

記

1. 覚書の骨子

(1) マーケティングの進め方

- ①両者は各々担当者（Marketing Development Manager、以下 MDM）を任命し、MDM は協力してマーケティングを行う。当社は MDM をドイツのデュッセルドルフ事務所長として派遣した。
- ②当社のガス化溶融技術と、CB&I の熱回収ノウハウ（高効率発電）を相互で情報交換する。
- ③両者は交換された技術情報に基づき、市場に最適なガス化溶融システムの構築を検討し、必要に応じて改良、改善を行う。
- ④得られたマーケティング情報から、ガス化溶融システムに適した WTE 案件を選別し、応札案件を決定する。

(2) 契約期間

2009年12月～2012年12月の3年間。両者が合意すれば延長可能。

2. 背景

当社はガス化溶融技術を欧州市場に展開するため、2008年12月にフランスで開催された国際環境総合展「Pollutec（ポリュテック）2008」へ出展し、エンジニアリング及びプラント施工能力のある戦略パートナーの発掘活動を行ってきました。

一方、CB&I は、新規事業として環境分野、特に熱回収ノウハウ（高効率発電）を活かして WTE 分野への参入を目指しており、当社とのパートナーシップに関心を示していました。

このような状況の下、以下の理由により本覚書を締結しました。

- ①当社のガス化溶融技術と、CB&I の熱回収ノウハウ（高効率発電）との組み合わせにより、市場に適した高効率発電ガス化溶融システムの構築が可能である。また、その知見は国内案件にもフィードバックすることができる。
- ②CB&I は、エンジニアリング及びプラント施工に関する優れた能力と実績、及び世界的な知名度と信用力を有しており、当社のパートナーとしての確な役務遂行が期待でき宣伝効果も大きい。
- ③CB&I との共同マーケティングにより廃棄物処理におけるマーケットニーズとトレンドを把握し、今後の開発の指針とする。

[本件に関する問い合わせ先]

◆株式会社神鋼環境ソリューション 総務部

TEL：078-232-8018、FAX：078-232-8051

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4番78号

【参考資料】

1. CB&I Lummus（ルーマス）社概要

- (1) 社 名 : CB&I Lummus B.V.
- (2) 本社所在地 : Oostduinlaan75 2596JJ The Hague Netherlands (オランダ ハーグ市)
- (3) 概 要 : 世界トップクラスの総合エンジニアリング会社 CB&I(CHICAGO BRIDGE & IRON) COMPANY の石油化学関連プラントのエンジニアリング会社。
- (4) 売 上 高 : 2,542 百万 US ドル (2009 年度実績)

2. 当社の海外展開について

当社は本年4月に策定した「2015年度中期ビジョン」において、海外展開の強化を基本方針の一つとして位置付けております。

欧州では、ガス化溶融システムに関する戦略パートナーの発掘活動を行い、CB&I との業務提携の覚書を締結し、共同でマーケティングを行っております。

また、ベトナムでは2件目となるポミナ鉄鋼向けの排水処理設備を受注し、インドでは今年1月に提携したジンドルウォーターインフラストラクチャー社と合弁会社設立に向け協議を進めております。

この様に、2015年度中期ビジョンで策定した戦略が一つ一つ実を結んできております。

今後も、日本、ドイツ、ベトナム、インドの4拠点を軸に、マーケティング、受注活動を推進し海外展開を強化していきます。

以 上